

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和4年度

市町村名	久喜市				
提案事業名	健康寿命No.1を目指す市民主体の健幸・スポーツ都市づくり事業				
事業期間	令和2年度 ～ 令和2年度				
成果指標	(成果を検証する指標) 動画視聴者数及び体験教室の参加者数				
	(成果検証の具体的な方法) 3つの事業に参加した人数及び動画視聴者数を計測する。				
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A
	従前値 (年 月時点)		目標値 (R3年3月時点)	14,000人 実績値 (4年4月時点)	31,495人
	(施設建設等の場合の実績)				
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)
住民への公表状況 及び特記事項					

【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 市民主体の健幸・スポーツ都市づくり事業	○	コロナ禍で外出制限がされる中、自宅で手軽に取り組めるトレーニング動画を中心とした動画配信を実施。Twitterなど様々なツールを活用し、幅広い層にアプローチ。令和4年4月15日現在で19,976人の方に視聴いただいております、生活の中で運動を身近に感じてもらうことができました。
② 健康講座	△	新型コロナウイルス感染症の影響により国の緊急事態宣言が発出されたため、事業が6回中5回(運動教室5回)中止となった。実施した医師の講話については、参加していた方がアンケートの回答に、講話の内容がわかりやすかった、生活習慣病を見直そうと思ったとのことがあった。(参加者25人)
③ 市民主体の健幸・スポーツ都市周知事業	○	ロゴマークの作成にあたり、公募制及び投票制にし、市内大型店舗での特設ブースの設置など、市民を巻き込んだ取り組みとしたことで、投票総数は11,494票となった。
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	事業①・③ コロナ禍に於いて、「自宅でできるトレーニング」を中心に動画配信を実施した他、市として初めてオンラインでスポーツイベントを開催。また、民間企業を活用することで、より効果的なPRを実施し多くの市民に周知ができた。
	事業② 医師の講話では、参加された方にアンケートをとったところ、参考になった、生活習慣を見直そうと思った等の意見があったことから、成果があったと考える。

実施事業について 成果が不十分である点	事業①・③ 本市の人口（約15.1万人）を考慮すると、より高い実績値が得られるように更なる普及啓発を図る必要があったと考えている。
	事業② 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、国の緊急事態宣言が発出されたことにより、運動教室（5回）は、中止となった。そのため、計画していた事業ができなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	事業①・③ 多くの市民にアプローチする為には動画は有効な手段である。よって、今後は市民を主役にしたスポーツ動画を積極的に作成するとともに、連携協定を活用して民間企業と連携した効果的なPRを引き続き実施していく。
	事業② 新型コロナウイルス感染症の影響もあったことから、成果検証が不十分である。今後については、コロナ禍でも実施できる健康づくりを検討したい。

（記入上の注意）

【成果指標の達成状況】

・達成度（A・B・C）の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果（○・△・×）の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果○」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない